

## ① 海洋放出の安全性に関する国内・国際社会への情報発信強化

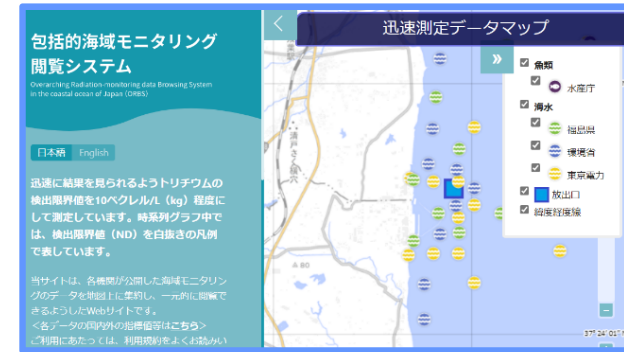
- 当社が運営する「**包括的海域モニタリング閲覧システム（ORBS）**」にて当社ならびに各機関（環境省、水産庁、福島県）による**海域モニタリング迅速測定**のデータをマップ上で公開（日本語、英語版 9月19日～）

＜包括的海域モニタリング閲覧システム（ORBS）＞



「迅速測定データマップを見る」をクリック

＜海域モニタリング迅速測定結果データマップ＞



こちらから  
ご覧いただけます



- 処理水ポータルサイト内で日々公表している、当社ならびに各機関による海域モニタリング迅速測定結果の最新状況の取り纏め資料について**英語版を公開予定（10月3日～）**。**中国語・韓国語版も10月中目途で公開予定**

＜海域モニタリング迅速測定結果（日本語版）＞

**各機関の迅速測定結果（令和5年9月19日現在）**

**【最新状況】**（土・日・祝日公表分は原則として翌営業日に更新、下線は更新箇所）

- **東京電力** 詳しくは[こちら](#)（東京電力 トリチウムの迅速測定の実績）

**【海水】**  
【発電所から3km以内】

9月18日に福島第一原子力発電所から3km以内10地点にて採取した海水のトリチウム濃度の迅速な測定を行った結果、すべての地点においてトリチウム濃度は検出下限値未満（6.7～7.6ベクレル/リットル未満）であり、当社の運用指標である700ベクレル/リットル（放出停止判断レベル）や350ベクレル/リットル（調査レベル）を下回っていることを確認しました。

- **環境省** 詳しくは[こちら](#)（環境省ホームページ）

**【海水】**

9月5日～6日に福島県沿岸の9測点、宮城県沿岸の1測点、茨城県沿岸の1測点にて採取した海水試料を分析（迅速測定）した結果、すべての測点において、海水のトリチウム濃度は検出下限値未満（7～8ベクレル/リットル未

処理水ポータルサイト「お知らせ」から閲覧可能

＜海域モニタリング迅速測定結果（英語版イメージ）＞

**Quick measurement results by organization (as of 9/19/2023)**

**[Latest Update]**(Information released on Sat., Sun., and holidays will generally be updated on the next business day. Underlined text indicates updated sections.)

- **Tokyo Electric Power Company (TEPCO)** Click [here](#) for details (TEPCO Analysis results of quick tritium measurements)

**【Seawater】**  
【Within 3 km of the power station.】

The results of quick tritium measurements of seawater collected at the specified location on 9/18/2023 indicate that the tritium concentration is below the lower limit of detection (less than 6.7–7.6 Bq/L). We have confirmed that it is below our operational indicators, which are 700 Bq/L (discharge suspension level) and 350 Bq/L (investigation level).

処理水ポータルサイト英語版「Information」から閲覧可能予定

# ①海洋放出の安全性に関する国内・国際社会への情報発信強化

- 処理水ポータルサイトに「**放出計画と実績**」を公開開始 (9月11日～日本語、英語版の公開開始。10月上旬目途で中国語、韓国語版も公開予定)

<放出計画>

測定・確認用設備であるK4エリアA~C群のタンクに貯留しているALPS処理水から放出します。中でも、国際原子力機関 (IAEA) が分析したB群を最初放出します。

タンク群	約放出量	トリチウム濃度	トリチウム以外の放射性物質の濃度
B	約7,800m³	14万 <sup>A</sup> ベクレル/l <sup>#</sup>	1.1兆 <sup>A</sup> ベクレル <sup>#</sup>
C	約7,800m³	14万 <sup>A</sup> ベクレル/l <sup>#</sup>	1.1兆 <sup>A</sup> ベクレル <sup>#</sup>
A	約7,800m³	13万 <sup>A</sup> ベクレル/l <sup>#</sup>	1.0兆 <sup>A</sup> ベクレル <sup>#</sup>
K4エリアE群 K3エリアA群	約4,500m³ 約3,300m³	17~21万 <sup>A</sup> ベクレル/l <sup>#</sup>	1.4兆 <sup>A</sup> ベクレル <sup>#</sup>

2023年度放出 トリチウム総量 約5兆<sup>A</sup>ベクレル  
年間放出基準 トリチウム総量 22兆<sup>A</sup>ベクレル

<放出実績>

2023年度の放出実績

ALPS処理水の海洋放出の状況は以下の通りです。

測定・確認用設備の分析日時	タンク群	トリチウム濃度	トリチウム以外の放射性物質の濃度	放出開始	放出終了	放出中の希釈倍率	希釈後のトリチウム濃度 <sup>#1</sup>	処理水の放出量	トリチウム総量
2023年6月22日	B群	14万ベクレル/l <sup>#</sup>	告示濃度比総和 0.28 < 1 規制基準 < 1	2023年8月24日	2023年9月11日	約800倍	142~220 <sup>#2</sup> ベクレル/l <sup>#</sup>	7,788m³	約1.1兆ベクレル

<sup>#1</sup> 海水配管にて採取した試料のトリチウム濃度です。  
<sup>#2</sup> 分析値から「不確かさ（分析データの精度）」を考慮した値です。



- 処理水の海洋放出に関する広告を**地元紙など（福島県、宮城県、茨城県、岩手県）に掲載**（9月17日、9月24日）

<9月17日掲載>

<9月24日掲載>

福島第一原子力発電所の放射性物質によるリスクを継続的に低減する「廃炉・汚染水・処理水対策」の取組みについてお知らせします。「復興と地元の再立」に向けて、廃炉を安全かつ速実に進めています。

### 多核種除去設備等処理水 (ALPS処理水) の海洋放出を開始いたしました

計画どおりに安全に放出できていることを確認しております

- ▶2023年8月22日、政府から、ALPS処理水の海洋放出について開始の判断が示されました。当社は、実施主体として、この判断を最速に受け止め、8月24日から海洋放出を開始いたしました。
- ▶ALPS処理水は、最初トリチウム濃度の低いものから慎重に放出することとしています。今年度は、約3万1千t、トリチウム総量で約5兆ベクレル<sup>#1</sup>のALPS処理水を、4回に分けて海洋放出する計画です。
- ▶初回の海洋放出 (8月24日~9月11日) は、設備や運用上のトラブルはなく、放出した水のトリチウム濃度は、政府方針で示された基準<sup>#2</sup>より10分低い、1.1あたり約200ベクレル/リットルでした。また、当社および各機関は、海水と水産物の海域モニタリングにおいて、検出下限値目標を10ベクレル/l<sup>#3</sup>程度 (水産物は10ベクレル/kg<sup>#3</sup>程度) としたトリチウム濃度の迅速測定を実施しており、運用上の指標 (右図参照) を大きく下回る結果となっております。
- ▶ALPS処理水の海洋放出は、長期にわたる継続的な取組みとなります。当社は、この期間を通じ、実施主体としての責任を担い続ける決意と覚悟をもって、
  - ・設備運用の安全・品質の確保
  - ・海域モニタリングの実施、国内外への正確で分かりやすい情報発信
  - ・国際原子力機関 (IAEA) の継続的なレビュー等を通じて透明性の確保風評対策、さらには自治体等との適切な連携、に、力を挙げて全力で取り組んでまいります。

<sup>#1</sup> ベクレルは放射性物質がどのくらい放射線を放出できるかを表す単位  
<sup>#2</sup> 2、5兆ベクレル/リットル程度 (トリチウム濃度の上限) かつ、1リットルあたり1,500ベクレル未満

トリチウム濃度の比較

単位: ベクレル/l <sup>#4</sup>	国の規制基準 (放出口) <sup>#1</sup>	WHO飲料水水質ガイドライン	放出停止判断レベル <sup>#2</sup> (発電所から3km以内)	調査レベル <sup>#3</sup> (発電所から3km以内)	日本全国の海水 <sup>#4</sup> 過去の測定範囲
80,000	60,000	10,000	700	350	0.043

放出下限値目標を10ベクレル/l<sup>#3</sup>程度とした迅速測定を実施

福島第一原子力発電所の放射性物質によるリスクを継続的に低減する「廃炉・汚染水・処理水対策」の取組みについてお知らせします。「復興と地元の再立」に向けて、廃炉を安全かつ速実に進めています。

### ALPS処理水に関する情報発信① 「処理水ポータルサイト」で海洋放出に関する様々なデータをご確認いただけます

- ▶ALPS処理水に関する情報をまとめた「処理水ポータルサイト」では、海洋放出に伴う様々なデータを公開しています。
- ▶「ALPS処理水 海洋放出の状況」 (右参照) では、放出前に測定したALPS処理水の分析結果、海洋放出時の各設備の運転状況に関するリアルタイムデータや海域モニタリングの結果など、海洋放出に関する様々な情報を掲載しております。
- ▶また、処理水ポータルサイトは、英語、中国語 (簡体字、台湾繁体字)、香港繁体字、韓国語の各言語に対応しています。
- ▶今回から、公開している情報について、シリーズでお伝えします。

処理水ポータルサイトで検索ください  
<https://www.tepco.co.jp/decommission/progress/watertreatment/>

- **第4回海外メディア向けオンライン会見** (10月4日予定)  
第1回放出の振り返りや、第2回放出計画の概要などを説明予定

## ②グループ総力を挙げた国産水産品の消費拡大

- 「ふくしま応援企業ネットワーク※」にて**国産水産品の利用・消費拡大をお願い**（9月11日）  
※福島県の風評被害払拭へ貢献しようという志を持った企業による連絡協議会（会員181社）
- 本社本館において、処理水の海洋放出後初めてとなる**「社員向け販売会」を開催**（9月13日）
- 英国・ロンドンのトラファルガー広場で行われる「ジャパン祭り2023」で**「発見！ふくしま」と「北海道産ホタテ」のPRブースを出展予定**（10月1日／英国福島県人会、JETROとも連携）
- JR御徒町駅南口駅前広場（おかちまちパンダ広場）にて**国産ホタテメニューなどを販売する大規模イベントを開催予定**（10月3日～5日） [下記参照](#)
- **本社社員食堂にて国産ホタテメニュー**（貝柱フライ、ホタテクリームコロッケ）**を提供予定**（10月10日、16日ほか）

### 「ホタテ祭り in おかちまちパンダ広場」概要

- ✓ 日時 2023年10月3日（火）～10月5日（木）  
16:00～21:00（最終日は～20:00）
- ✓ 場所 JR御徒町南口駅前広場（台東区上野3-26）
- ✓ 開催概要
  - ・ 北海道産ホタテなどの海産物を使用した海鮮焼き
  - ・ キッチンカーによる国産ホタテ&福島県産品コラボメニュー
  - ・ 宅配サービス付ホタテ商品の販売、ECサイト紹介
  - ・ ミニステージでの出店事業者紹介、ホタテ殻剥きイベント など



パンダ広場でのイベント（イメージ）



ホタテ焼き（イメージ）

### ③お困りの事業者さまのご事情を伺い、きめ細やかに対応する体制の強化

- 各事業者さまからのお困りごとに対しては、**ご事情やご要望を丁寧に伺い、販売できなくなった商品の販路拡大の解決策と一緒に検討するなど、きめ細やかに対応**
- **宮城県石巻市にご相談窓口を10月2日より設置(予約制)**。地域の実情などをふまえ、他地域でもご相談対応拠点の設置を検討
- ALPS処理水放出に伴う被害が発生した場合には、**迅速かつ適切に賠償**
- これらの対応を進めるため、**年内を目途に400名規模→1,000名規模へ体制を強化**

#### 石巻相談窓口の概要

- ✓ 住 所 宮城県石巻市鑄銭場5-9 いせんばプラザ102
- ✓ 受付日時 月～金（休祝日除く）/10:00～16:00

※予約受付電話 0120-925-097（10月2日～予約受付開始）  
予約受付日時 月～金（休祝日除く）/ 9:00～17:00

